

## 理学部宇宙物理・気象学科 談話会のお知らせ

理学部宇宙物理・気象学科では10月10日(水)14時00分より、談話会を開催いたします。今回は国立天文台理論部の浜名崇助教をお招きして、すばる望遠鏡を用いた宇宙論研究についてお話いただきます。皆様お誘いあわせのうえ、ぜひご出席ください。

日時：2018年10月10日(水)14:00-15:00

場所：万有館4階 B405 教室

題名：弱い重力レンズ効果を用いた宇宙論研究とすばる Hyper SuprimeCam survey の初期成果

要旨：

弱い重力レンズ効果は、物質分布の力学状態や電磁波放射との関係を仮定することなく宇宙の物質分布を探ることを可能とするので、宇宙論や大規模構造形成の研究における重要なツールである。しかし、特に宇宙論研究においては、広い領域にわたる高解像度のデータが必要とされるので観測的な困難が立ちはだかっていた。

ここ数年、4-8m級の望遠鏡に超広視野の撮像カメラが開発され、1000平方度を超える領域にわたる大規模サーベイが進行している。これにより弱い重力レンズ効果を用いた精密宇宙論研究が可能になっている。

日本でも、すばる望遠鏡に新たに搭載されたHyper SuprimeCam (HSC)を用いたHSCサーベイが進行中である。

セミナーでは、初めに弱い重力レンズ効果の原理とその宇宙論への応用を解説した後、HSCサーベイの概要とそれを用いた宇宙論研究の初期成果を紹介します。

問い合わせ先：

理学部宇宙物理・気象学科 諏訪雄大

Email: suwa\_AT\_cc.kyoto-su.ac.jp